

葉山町議会議長 土佐洋子様

陳情書

トゥモローランド開発における未解決な申請書類等の疑惑について、葉山町の説明責任を求める陳情

陳情の趣旨

トゥモローランドホテル開発事業に関し、申請書類等に未解決の疑惑が残されたまま事業が進められた経緯について、葉山町が住民に対し十分な説明を行っていないことから、町としての説明責任を果たすよう求めるものです。

陳情の理由および経緯

東洋経済オンラインにおいて、「波乱 御用邸の町『葉山』住民の憤激」と題した記事が、トゥモローランドホテル問題について全6回にわたり掲載されました。これらの記事は常に高い閲覧数を記録し、全国的にも大きな関心を集めています。

本記事は葉山町とは無関係の第三者によって取材・執筆されたもので、主に情報公開請求や関係者への取材などによって収集された客観的な証拠に基づいて構成されています。

もしこれらの記事が世に出なければ、本件に関する情報は一部の住民の間にとどまり、十分な情報公開がなされないまま、数年後には「何も問題がなかったもの」として処理されていた可能性が高いと考えられます。

近隣住民は、約5年にわたり、繰り返し葉山町に対して説明や対応を求めてきました。しかしながら、町は住民の訴えに十分に答えることなく、開発はそのまま進められてしまいました。

東洋経済オンラインの記事では、

- ・虚偽の可能性のある申請
- ・町が事業者側に欺かれたのではないかと疑われる点

などが具体的に指摘されています。

また、記事で明らかにされた証拠の中には、過去に住民が神奈川県建設審査会へ申し立てを行った後になって初めて開示・発見された資料も含まれています。これらの資料がより早い段階で明らかになれば、本開発は認められなかった可能性も否定できません。

住民は、町長に対しても繰り返し説明と対応をお願いしてきましたが、それでもなお、疑問点が解消されないまま現在に至っています。

このように、住民の不信と不安を残したまま問題を放置することは、今後の葉山町政にとっても極めて重大な問題を残すものと考えます。

本件に関わった住民は、問題の調査および対応のため、約4年間にわたり多大な時間を費やし、精神的にも大きな負担を受けてきました。その影響は日常生活や仕事にも及んでいます。

事業者であるトゥモローランド側からの説明も必要であると考えますが、まずは承認を行った行政主体である葉山町、特に町長が、住民の疑問および東洋経済オンラインの記事内容に関する質問に対し、責任をもって説明を行うべきであると考えます。

陳情事項

- 1.トゥモローランド開発に関する申請書類および審査経緯について、未解決とされている疑惑を含め、町として公式な説明の場を設けること。
- 2.東洋経済オンラインの記事で指摘されている内容について、町の見解を明確に示すこと。
- 3.住民からの質問・疑問に対し、文書および説明会等を通じて誠実に回答すること。

以上、地方自治の基本である住民への説明責任を果たすため、誠意ある対応を強く求め、ここに陳情いたします。

令和8年1月26日 葉山町堀内1473 荒井喜一

荒井喜一

